

記事を読んで、問いに答えましょう。

2020年9月3日朝刊 西部版



児童が家庭での温暖化防止に取り組む環境学習プログラム「アース・キッズチャレンジ」(県地球温暖化防止活動推進センター主催)のキックオフイベントが2日、島田市の市立第三小で開かれた。5年生43人がゲームや自転車発電を体験し、身近に実践できる省エネについて学んだ。

「身近」な省エネ考える

島田第三小 自転車発電に挑戦

自転車発電では、児童が自転車のペダルを30秒間こぎ続け、ランプを点灯させたり音楽を鳴らしたりすることに挑戦。同センターの職員から、火力発電の仕組みや二酸化炭素(CO₂)の排出量について説明を受けた。ごみの分別ゲームでは、プラスチックや雑紙などさまざまな種類のごみを、市のルールに沿って正しく分別した。

児童は事前に各家庭で電気やガスのメーターをチェック。授業で得たヒントを基に省エネを意識した生活を送り、エネルギー使用量の変化について検証する予定。自転車発電を体験した山崎祐駕君は「後半はペダルが重く、発電し続けるのが大変だった。まずは無駄な電気を消すことから始めたい」と話した。

自転車を用いて発電に挑戦する児童

島田市立第三小

(島田支局・中村綾子)

①記事の環境学習プログラムは児童が家庭で何に取り組むためのものですか。

()

②見出しには『「身近」な省エネ考える』と書かれています。この「身近」と同じような意味で使われている記事中の言葉を1つ書きましょう。

()

③この環境学習プログラムでは、事前学習も大切です。児童はどのような事前学習をしていますか。

()

④記事を参考に、環境のためにあなたが実践しようと思うことを1つ書きましょう。

()

年 組 名前

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2020年9月3日朝刊 中部版



児童が家庭での温暖化防止に取り組む環境学習プログラム「アース・キッズチャレンジ」(県地球温暖化防止活動推進センター主催)のキックオフイベントが2日、島田市の市立第三小で開かれた。5年生43人がゲームや自転車発電を体験し、身近に実践できる省エネについて学んだ。

「身近」な省エネ考える

島田第三小 自転車発電に挑戦

自転車発電では、児童が自転車のペダルを30秒間こぎ続け、ランプを点灯させたり音楽を鳴らしたりすることに挑戦。同センターの職員から、火力発電の仕組みや二酸化炭素(CO₂)の排出量について説明を受けた。ごみの分別ゲームでは、プラスチックや雑紙などさまざまな種類のごみを、市のルールに沿って正しく分別した。

児童は事前に各家庭で電気やガスのメーターをチェック。授業で得たヒントを基に省エネを意識した生活を送り、エネルギー使用量の変化について検証する予定。自転車発電を体験した山崎祐駕君は「後半はペダルが重く、発電し続けるのが大変だった。まずは無駄な電気を消すことから始めたい」と話した。

自転車を用いて発電に挑戦する児童

島田市立第三小

(島田支局・中村綾子)

①記事の環境学習プログラムは児童が家庭で何に取り組むためのものですか。

((地球)温暖化防止)

②見出しには『「身近」な省エネ考える』と書かれています。この「身近」と同じような意味で使われている記事中の言葉を1つ書きましょう。

((例)家庭での 各家庭で)

③この環境学習プログラムでは、事前学習も大切です。児童はどのような事前学習をしていますか。

((事前に)各家庭で電気やガスのメーターをチェックした。)

④記事を参考に、環境のためにあなたが実践しようと思うことを1つ書きましょう。

((例)無駄な電気を消すこと。
さまざまな種類のごみを市のルールに沿って正しく分別すること。
電気の使用量を見て、無駄がないかチェックすること。 など)

年 組 名前